

序

本書の前身である『ビジュアル基本手技シリーズ 必ずうまくいく！気管挿管』は、**臨床研修医，若手医師，医学生，そして看護師，救急救命士，その他メディカルスタッフ**を対象に，気管挿管を初めて学ぶひとのために，**初歩の初歩**から解説したわかりやすい本を目指して誕生しました。本書もこの目的は同じです。初心者が気管挿管，気道管理を効率よく学べるように，またそれを指導する立場の先生が補助として利用できるように，**多くの写真，イラスト，表**を使用した解説も継承しています。

2004年の初版からは15年，2009年の改訂版からは10年が経過し，この間気管挿管，気道管理の分野でも大きな変化がありました。新しい気管挿管用器具である，**ビデオ喉頭鏡**の出現，普及はその1つです。当初，困難症例に使用されていたビデオ喉頭鏡は，一般的にも使用されるようになり，将来的にはおそらく主要器具となるでしょう。そこで本書では，今現在も多く使用されている従来のマッキントッシュ喉頭鏡に加えて，本邦で代表的なビデオ喉頭鏡である，マックグラス喉頭鏡，エアウェイスコープについて解説しました。

ビデオ喉頭鏡により喉頭の観察，そして気管挿管は容易になりました。しかし，その成否には患者の安全・生命がかかっています。器具への精通，使用方法，使用のポイント，注意点を知らずに成功はありえません。本書ではこれらを，**「鉄則」「Tips」「注意」**として詳しく解説しました。「鉄則」は，器具が変わっても，気管挿管を行うにあたり守るべき普遍的な原則をまとめたものです。

また近年，気道管理に関する多くの**ガイドライン**が策定され，気道管理の概念がエビデンスを基にまとめられています。本書では，「日本麻酔科学会 気道管理ガイドライン 2014」，「人工呼吸器離脱に関する3学会合同プロトコル」，「日本呼吸療法医学会 気管吸引ガイドライン 2013」，「DAS（英国困難気道学会）抜管ガイドライン」を積極的に取り入れ，解説に加えました。

前版から好評であった気道管理全般に関連する多くの動画は**Web動画**に進化し，スマートフォン，タブレット端末などによりどこでも視聴可能となりました。ビデオ喉頭鏡，挿管の介助など，新たなコンテンツも追加しました。これらは，見るだけで自分自身の経験を深め，静止画のみでは伝わりにくいニュアンスの理解に役立ちます。ぜひ視聴いただきたいと思います。

初版から本書まで写真・動画の撮影ならびに掲載に関して，ご理解と同意をいただいた患者の皆様には，心より感謝を申し上げます。制作，撮影に協力していただいた北九州総合病院麻酔科，手術室スタッフの皆様，そして私にこれまで多くの御指導をいただいた先生方に感謝します。本書の編集にあたり，辛抱強い支援をいただいた羊土社の溝井レナさん，その他制作スタッフのご尽力に感謝します。そして初版から15年もの間，ご利用，ご支持いただいた読者の皆様にも心から感謝申し上げます。

今後も引き続き，本書が気管挿管，気道管理を学ぶ人，指導する人の手助けとなり，患者の救命，安全へと貢献できれば，著者としてこれ以上の幸せはありません。

2019年1月

青山和義